



図書だより

第5号
22・12・13・火

☆☆ 読書会 11/15(火) ☆☆

今年は、金子みすずの詩を中心に、数名の詩人の詩を読書会の題材としました。また、取り組みやすいように、back number の作品から「ハッピーエンド」を選びました。歌の歌詞も立派な詩であることをきっと感じてくれたことと思います。読書会は、正解・不正解を問うのではなく、詩の中に込められた思いに共感できるか、あるいは、なんとなく気になるフレーズを選んで、みんなで意見や感想を自由に発表しました。詩は決して難しいものでも、かた苦しいものでもありません。読書会をきっかけにして、詩を身近に感じてくれたらうれしいです。



<金子みすず>

「星とたんぽぽ」

感想からいろいろ書くのは、とても難しくてしっかりとさせることができず悔しいなと思いました。しかし、詩はあまり読みませんが好きではあったので、読書会ということで詩を読み、自分で解釈する機会ができてとてもうれしかったです。近いうちに詩集を借りたいと思います。
(図書委員 2-6 向井 涼音)

先輩の気に入った詩の感想を聞いて、さらに他の人のいろいろな意見や考え方をたくさん聞いて、自分では考えていなかった新しい発見がありました。

(図書委員 1-2 山口 紗来)

「私と小鳥と鈴」

はじめて読書会に、図書委員会の2年代表として参加しました。最初は難しそうだし、どのように感想を言おうかと悩んでいました。また、トップバッターでの発表だったので、すごく緊張したけれども、自分が詩を読んで思ったこと、感じたこと他の人にうまく伝えることができました。
(図書委員 2-2 中村 圭吾)

「大漁」

小学校・中学校では、自分の考えや感じたことを発表することはなかったと思うけれど、今日、読書会で自分の思ったことや、他の人の意見を聞いてよかったです。

(図書委員 1-7 藪谷 琴音)

☆☆ 「今後の予定」 ☆☆

◎雑誌リサイクル 12/20 (火) 13:00 ~ 13:30

12/21 (火) 13:00 ~ 13:30

◎冬休み開館日 12/23(金)・12/26(月)・12/27(火)

冬休み中は、一人5冊まで貸し出します。返却日は1月10日

☆☆ 「新刊コーナー」 ☆☆

「その本は」

又吉 直樹



本の好きな王様がいました。自分で本が読めない王様のため、二人の男は、世界中をまわって「珍しい本」を探し出しました。二人の男は、たくさんの本の話を持ち帰り、王様のために夜ごとかたりだします。

「天気の本」

荒木健太郎



雲、雨、雪、虹、台風、竜巻など空(気象)にまつわる、面白くてためになる知識をやさしく紹介。映画「天気の子」の気象監修者としても有名な荒木健太郎氏が、天気や気象にまつわる、とっておきのネタを教えてくださいます。

「小説 すずめの戸締り」

新海 誠



17歳の少女、岩戸鈴芽。ある日の登校中、美しい青年とすれ違った鈴芽は、「扉を探してるんだ」という彼を追って、山中の廃墟へと辿りつく。不思議な扉に導かれ、すずめの“戸締りの旅”がはじまる。



今回も多くの図書が新たに仲間入りしました。きっとお気に入りの作品が見つかると思います。ぜひ、図書館へ足を運んでください。



☆☆ 現在、本を借りて返却期限が過ぎている人へのお願い ☆☆

図書館では冬休みを利用して本の整理を行います。終業式までにいったん図書を返却してください。